

基本目標 2

人権を尊重した男女共同参画意識の確立 〔意識づくり〕

具体的目標6

男女共同参画社会づくりに関する意識啓発の推進

現状と課題

男女共同参画社会を実現させるためには、人々の意識の中に形成された性別に基づく固定的な役割分担意識の解消、性差に関する固定観念や偏見の解消、社会制度や慣行の見直し、人権尊重を基本とした男女平等感の形成などが課題となっています。男女ともそれぞれが望む多様なライフスタイルを選択できる社会を実現するために、市民一人ひとりが男女共同参画に関する認識やその意義について理解を深めるとともに、男女平等の意識を高めることが必要です。

基本目標
2

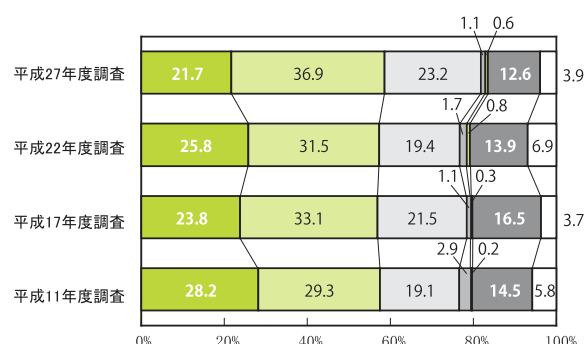
- 市民意識調査では、「男女とも仕事をし、男女とも家事や育児介護をする」という考え方方が増加傾向にあります。しかし、実際の家庭では家事や育児、介護は女性が行っている方が多いという実態があります。

男女の役割分担は本来どうあるべきか



- 男は仕事、女は家事や育児、介護を分担する
- 男女とも仕事をし、家事や育児、介護は主に女が分担する
- 男女とも仕事をし、家事や育児、介護も男女で分担する
- 女は仕事、男は家事や育児、介護は分担する
- 無回答

実際の家庭での役割分担

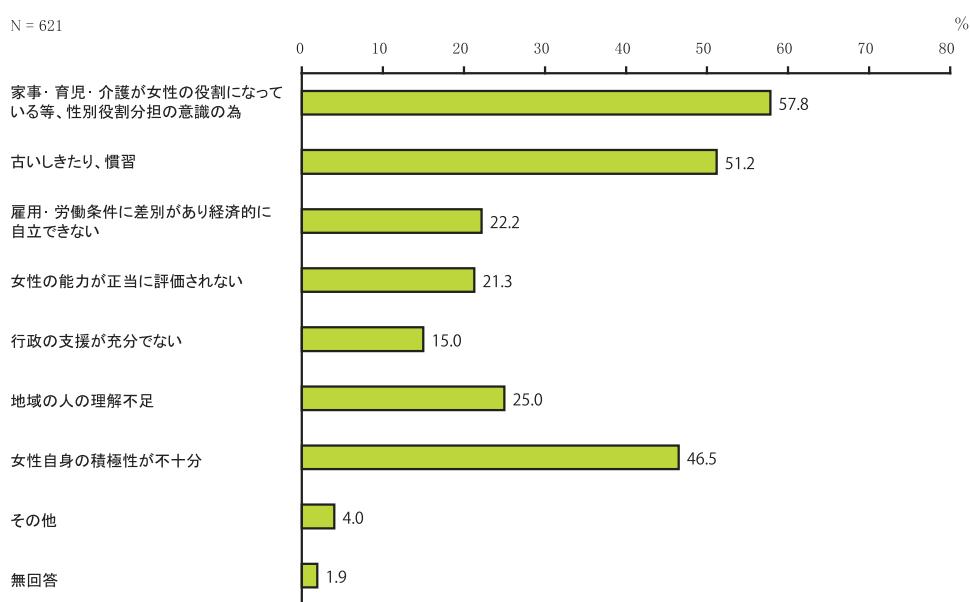


- 男は仕事、女は家事や育児、介護を分担している
- 男女とも仕事をし、家事や育児、介護は主に女が分担している
- 男女とも仕事をし、家事や育児、介護は男女が分担している
- 男女とも仕事をし、家事や育児、介護は家族などにまかせている
- 女は仕事、男は家事や育児、介護を分担している
- 分担しているような男性、女性がない
- 無回答

資料:平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

- ・また、女性の社会参画を阻んでいる要因として、「家事・育児・介護が女性の役割になっている等、性別役割分担の意識のため」、「女性自身の積極性が不十分」、「地域の人の理解不足」という回答が上位になっています。

女性の社会参画を阻んでいる要因（複数回答）



資料：平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

- ・こうした結果からもわかるように、現実には、性別による役割分担が依然として根強く残っていることから、社会制度や慣行の見直しを進めるなど固定的性別役割分担意識の解消に向けて、幅広い年齢層に身近でわかりやすく、実践につながる啓発活動を積極的に推進していくことが必要です。
- ・男女共同参画について、市民の関心と意識を高めるための講座等イベントの開催のほか、出前講座や男女共同参画コミュニケーター等を活用した自治会や企業への啓発、市民・NPO・団体・教育機関等と協働した学習活動などの支援や意識啓発に取り組む必要があります。
- ・男女共同参画に関する各種資料や情報の収集と市民への情報提供を積極的に行い、自主的な学習や活動を支援していくことが必要です。

【 方向性 】

施策の方向 ⑯男女共同参画社会づくりに関する意識の啓発活動の推進

男女共同参画に関する情報提供や学習事業の充実を図り、男女共同参画に対する意識啓発を推進します。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
36	上田市男女共同参画 推進条例の啓発	広く市民の関心と理解を高めるための啓発を行います。	人権男女共同参画課
37	啓発のための 講座・イベント等の開催	広く市民の関心と理解を高めるために、講座・講演会・映画会・フェスティバル・フォーラムなどを開催します。	人権男女共同参画課 各市民サービス課 生涯学習・文化財課
38	社会制度・慣行の見直し	社会制度・慣行等の見直しや調査・研究の充実を図ります。	人権男女共同参画課
39	各種情報媒体の活用に よる啓発	広報うえだ等の情報紙や各種メディアを通じて、啓発活動を行います。また、各課で作成するパンフレット・リーフレット・ホームページ・行政チャンネル等には、男女共同参画の視点を取り入れます。	全課
40	情報の収集及び提供	各種資料について情報の収集・提供を行い、啓発資料の作成・配布を行います。	人権男女共同参画課
41	出前講座の充実	男女共同参画社会を目指す「出前ときめきのまち講座」の充実を図ります。	人権男女共同参画課
42	市職員の研修機会の充実	男女共同参画の視点を持ち、職務を遂行する職員を育成するための研修を実施します。	総務課 人権男女共同参画課

施策の方向 ⑯啓発推進体制の整備

総合的、計画的に施策を推進するための啓発推進体制を整備します。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
43	男女共同参画 コミュニケーション制度等の 整備・充実	地域のリーダーとして市民と行政とのパイプ役となる男女共同参画コミュニケーション等の制度を整備・充実させます。	人権男女共同参画課
44	男女共同参画推進団体 との協働	男女共同参画社会づくりに向けて活動する団体・グループ等との連携・協働による啓発に努めます。	人権男女共同参画課
45	庁内体制の整備	総合的・計画的に施策を推進するため、男女共同参画庁内推進会議を開催します。	人権男女共同参画課

具体的目標7

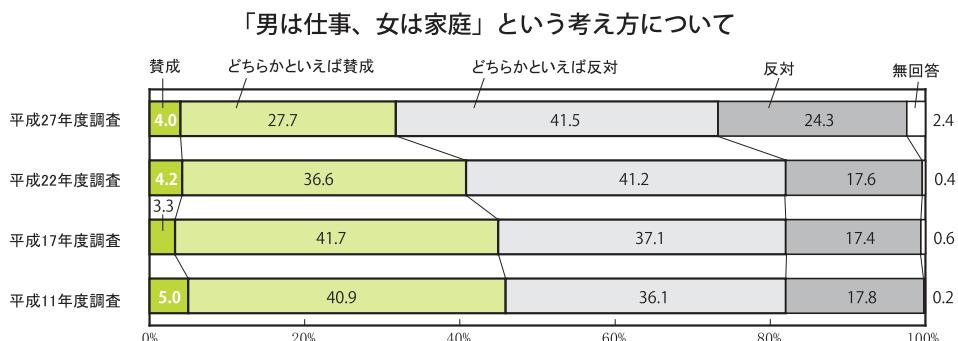
男女共同参画意識を高め多様な選択を可能にする教育及び学習の充実

現状と課題

男女共同参画社会を実現するためには、教育や学習の果たす役割は極めて重要です。男女が主体的に多様な選択ができるよう、そのエンパワーメントを促進する観点も不可欠です。上田市では、教育関係者（家庭教育・保育を含む幼児教育・学校教育・社会教育その他のあらゆる教育に携わる者）の責務を条例に定め、取組を進めてきました。家庭・学校・地域・働く場などあらゆる場において、相互の連携を図りつつ男女平等を推進する教育や学習の充実を図る必要があります。

基本目標
2

- ・家庭は、子どもが最初に男女共同参画意識を育むことのできる大切な場であるため、男女共同参画の視点に立った家庭教育、また、子どもの個性と能力が發揮できる家庭教育が十分図られるよう、啓発や学習機会の充実を図ることが必要です。
- ・市民意識調査によると「男は仕事、女は家庭」という考え方については、前回調査と比較し、「賛成」の割合が9.1ポイント減少し、「反対」の割合は7.0ポイント増加しました。男女別では男性よりも女性の方に反対意見が多くなっています。

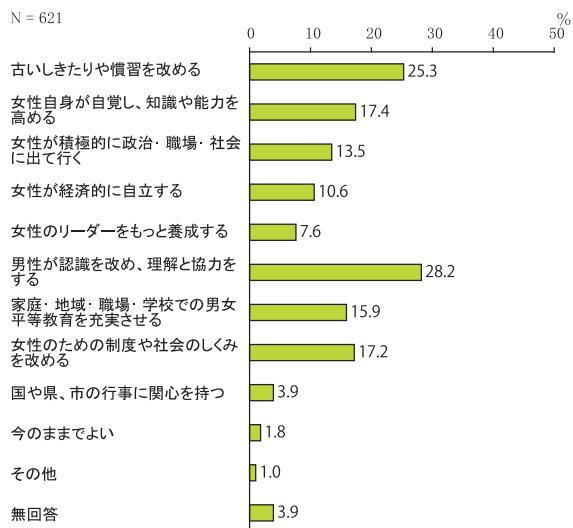


資料：平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

- ・幼児期は、人間形成の基礎が培われる大切な時期であり、他人を思いやる豊かな人間性を育てる必要があります。そのためには保育・幼児教育に携わる保育士・教諭等のほか保護者が男女共同参画意識を高めていくことが必要です。
- ・学校教育では、発達段階に応じた教育を推進し、男女共同参画意識や人権感覚を育成するとともに、一人ひとりの個性や能力を尊重した教育を推進していく必要があります。

- ・男女共同参画の視点に立った教育を進めていくためには、教職員の意識を更に高めるための研修機会の充実が必要です。また、進路指導にあたっては、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択できるよう、生徒の希望や個性を尊重した指導を行うことが求められます。
- ・市民意識調査によると、「男女共同参画社会の実現のために今後どのようなことが必要か」の問に対して「古いしきたりや慣習を改める」との回答が上位となっています。このことは、特に地域で男性優先とする古いしきたりや慣習などにより、固定的性別役割分担意識が残っていることを示しています。この意識を解消するためには、地域における男女共同参画の視点に立った学習の充実が必要です。

「男女共同参画社会」実現のために今後必要なこと
(複数回答)



資料:平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

【 方向性 】

施策の方向 ⑯家庭における男女共同参画の意識を高める教育・学習の充実

家庭で男女共同参画意識を育むことができるよう、啓発や学習機会の提供の充実を図ります。

	具体的な施策	具体的な施策の詳細	担当課
46	男女共同参画の視点に立った家庭教育の推進	家庭における固定的性別役割分担意識を解消するための啓発や学習機会の提供をします。	人権男女共同参画課
47	子育て・介護に関する家庭教育の学習機会の充実	子育て・介護についての講座を開設し、家庭教育の推進を図ります。また、自治会青少年育成懇談会等を通じ家庭教育への理解と向上を図るための啓発を推進します。	子育て・子育ち支援課 高齢者介護課 公民館
48	指導者の育成と連携	青少年の育成活動の充実を図るために、指導者育成及び青少年育成推進指導員との連携を強化します。また、公民館や学校、地域との連携強化により家庭教育の充実を図ります。	生涯学習・文化財課 公民館

施策の方向 ⑯学校・保育所における男女共同参画の意識を高める教育の推進

子どもの頃から、男女共同参画の理解を促進するとともに、性別によって制約されなく自分らしい生き方ができるよう、保育所・幼稚園・学校において、男女平等教育を進めます。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
49	男女共同参画の視点に立った学校教育・保育・幼児教育の推進	子どもたちが学習・生活面において男女平等観を育むことを支援するため、適切な学習内容や指導に努めています。	学校教育課 保育課
50	保育士・教諭及び教職員に対する研修会の実施	保育・幼児教育・学校教育における男女共同参画を推進するため、保育士・教諭及び教職員の資質向上と豊かな感性と人権感覚を養う各種研修会を実施します。	人権男女共同参画課 保育課 学校教育課
51	保護者への意識啓発	保護者の意識啓発を図るため、講座やお便り、参観を通して意識啓発に取り組みます。	保育課 学校教育課
52	男女が互いに認め合うための性教育の充実	男女が互いに認め合うための性教育の充実を図ります。	学校教育課
53	個性を尊重した進路指導の推進	生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択できるように、生徒の能力・適性・進路希望に応じた指導を推進します。	学校教育課
54	児童生徒の性的指向や性別違和に対するきめ細かな対応	学校生活において、性的指向や性別違和により悩みを抱える児童生徒に対する相談体制等を充実させ、当事者に寄りそった対応をします。	学校教育課

施策の方向 ⑰地域や職場における男女共同参画の意識を高める生涯学習の拡充

地域活動や職場等において、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できるよう、男女共同参画の視点に立った生涯学習を推進するとともに、公民館等の講座や出前講座等で男女共同参画の普及啓発を実施します。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
55	男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進	公民館等の講座や学級において男女共同参画の視点をもって運営します。	生涯学習・文化財課 公民館
56	学習機会の提供の促進	意識啓発のために出前講座や男女共同参画コミュニケーション制度の周知に努め、学習機会の提供を行います。	人権男女共同参画課 公民館
57	指導者の育成	生涯学習活動を進めるにあたり、男女共同参画の意識の高い指導者を育成します。	生涯学習・文化財課
58	人権尊重のための学習内容の充実	人権を考える市民のつどい・自治会懇談会・指導者研修会等を通じて、男女共同参画と人権尊重の視点に立った学習内容の充実を図ります。	生涯学習・文化財課 公民館

具体的目標8 学習環境の一層の整備

現状
と
課題

女性をはじめとする多様な人材が広く社会参画するためには、政治、経済、理工系分野など様々な分野への関心を高める学習が必要です。誰もが参加しやすい講座を企画するなど学習環境の一層の整備が必要です。また、男女共同参画は、働きやすい職場環境、充実した家庭生活、活気あふれる地域社会の実現など、女性だけの問題ではなく、男女とも暮らしやすい社会を実現するために重要であるという理解を促進する必要があります。

基本目標

2

- ・公民館等の社会教育機関・地元の高等学校や大学等と連携により、参加しやすい講座を企画するなど、若い世代も参加できるような運営の工夫が必要です。
- ・子育て中の世代が参加できるよう講座等を行う際には託児を提供するなど環境の整備が必要です。
- ・情報化社会においては、メディアによってもたらされる情報が人々の意識や行動に大きな影響を与えており、様々な情報やメディアに対処できる能力の向上が必要です。

【 方向性 】

施策の方向 ②0 学習機会及び学習内容の充実

あらゆる分野・年齢層を考慮し、市民がより参加しやすい方策の工夫や学習内容の充実を図ります。

具体的施策	具体的施策の詳細	担当課
59 市民が参加しやすい学習機会の提供	市民がより参加しやすい学習機会の提供と学習内容の充実を図ります。また、託児の場を提供し、子育て中の男女が参加しやすい環境に努めます。 活動拠点施設として男女共同参画センターの充実を図ります。	人権男女共同参画課 公民館 子育て・子育ち支援課
60 社会教育関係機関、地元の高等学校・大学等との連携	社会教育機関や地元の高等学校・大学等との連携による男女共同参画に関する講座の開催や情報提供を行います。	人権男女共同参画課 生涯学習・文化財課 政策企画課

具体的目標9

国際的協調と国際理解の推進

現状
と
課題

我が国の男女共同参画施策は、国連をはじめとする国際的な女性の地位向上に係る動きと連動して推進してきました。諸外国では、男女共同参画施策が大きく進展している例もあります。国際社会の動向を男女共同参画社会の促進に生かすとともに国際的視野を持つ人材を育成することが必要です。

- ・男女共同参画社会の実現に向けた動きは、国際社会の中で進んでいます。女子差別撤廃条約をはじめとする男女共同参画に関する深い各種の条約、「北京+20」会議における議論等、国際社会の動向や取組などの情報収集・提供を進めていくことが必要です。
- ・国際化が進展する中で、国際的な視野を持ったリーダーやボランティアの育成が必要です。

【 方向性 】

施策の方向 ②1国際的視野の育成と国際理解の推進

男女共同参画社会の形成に向けた国際社会の動向を把握するとともに、国際的人権感覚を育む学習の機会を提供します。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
61	国際社会の動向の把握	男女共同参画社会の形成に向けた国際社会の様々な取組や、女性問題等に関する情報の収集及び提供を行います。	人権男女共同参画課
62	国際的視野を持つ 人材の育成	国際的視野を持つ女性リーダーの育成や国際交流ボランティアの育成を図ります。	秘書課 市民課 人権男女共同参画課
63	外国における男女共同参画 の制度への理解	外国における男女共同参画の制度等について学習し、理解を深めます。	人権男女共同参画課

具体的目標10

男性にとっての男女共同参画の推進

現状
と
課題

男女共同参画の実現は、男性にとっても自己実現を目指し、生きがいを持って生活を送るために極めて重要です。長時間勤務や転勤が当然とされている男性の働き方の見直しを進めるとともに固定的性別役割分担意識の解消を図ることにより、家庭生活や地域生活へ男性が参画するとともに、自己啓発等にかかる時間が確保できるよう、男性自身や企業の意識改革、環境の整備が必要です。これまで、男性は、家事・育児等への参画や、地域社会への貢献などが必ずしも十分でない状況でした。男女共同参画は、男性にとっても暮らしやすい社会を実現するために重要であるという理解を促進する必要があります。

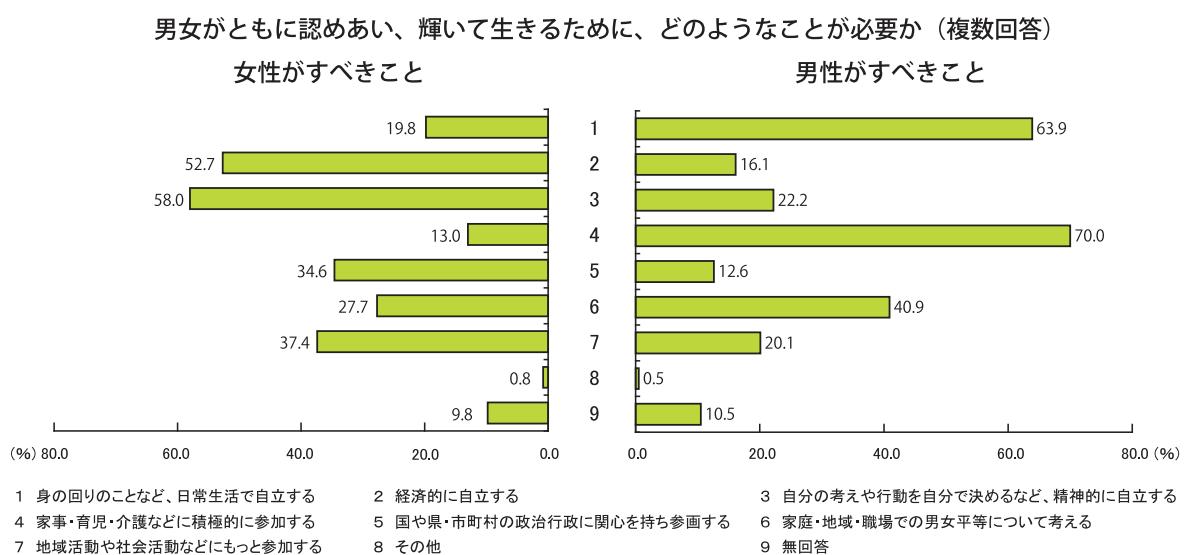
- ・男女共同参画社会は、多様な生き方を尊重し、全ての人があらゆる場面で活躍できる社会であり、男性にとっても暮らしやすい社会です。「固定的性別役割分担意識」は、男女共同参画社会の実現の大きな障がいの一つであり、男性もその意識から解放されることが必要です。そのための意識啓発の活動や学習会などを開催することが必要です。
- ・男性については、従来の職場中心のライフスタイルから職場・家庭・地域のバランスの取れたライフスタイルへ転換していくことが求められます。そのため、育児休業や介護休業制度の普及を企業等へ働きかけが必要です。
- ・男性が育児や介護に積極的に関わるためには、その必要性はもちろんのこと知識や技術を習得することが必要です。
- ・男性が家事・育児・介護等の多様な経験を得ることは、マネジメント能力の向上や多様な価値観と視野の広がりなど、男性自身のキャリア形成にとっても重要な機会であるとの理解を進める必要があります。
- ・近年は、男性介護者も増加しており、仕事を持しながら親の介護をする中高年男性等の介護離職も課題となっています。
- ・市民意識調査によると、「男女共同参画社会」の実現のために社会で進めていく必要があることは、「男性が認識を改め、理解と協力をする」の割合が男女とも約3割と高くなっています。

「男女共同参画社会」の実現のために社会で進めていく必要があること（複数回答）

	有効回答数 (件)	習古いしきたりや慣	し、女性自身が能力自覚	て治性が積極的に出政	立女性が経済的に自	も女性と養成するリーダーを	すめ男性的理解と協力を改	教育家庭を充実させる職場等	改や女性のためのしめくみ制度を度	に国や県、市のみ行事	今までよ	その他	無回答
男性	279	29.4%	17.6%	12.2%	7.2%	7.5%	27.2%	14.3%	16.8%	3.9%	2.9%	0.7%	5.4%
女性	338	22.2%	17.5%	14.5%	13.6%	7.7%	29.3%	17.5%	17.5%	3.8%	0.6%	1.2%	2.4%

資料:平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

- また、「男女がともに認めあい、輝いて生きるために、これから男性と女性はどのようなことをしていく必要があると思うか」の問に対して、男性がすべきことについては、男女とも「身のまわりのことなど日常生活で自立する」、「家事、育児、介護などに積極的に参加する」に多くの回答が寄せられました。また、女性がすべきことについては、男女とも「自分の考えや行動を自分で決めるなど精神的に自立する」、「経済的に自立する」に多くの回答が寄せられました。この結果から女性は精神的、経済的自立、男性は日常生活での自立や家事、育児、介護等の積極的参加が求められていると考えられています。



資料：平成27年度男女共同参画社会に関する市民意識調査

【 方向性 】

施策の方向 ②2 男性にとっての男女共同参画の推進

男性にとっても生きやすい社会を目指し、男性の働き方の見直しや固定的性別役割分担意識の解消を推進します。

具体的な施策		具体的な施策の詳細	担当課
64	男性にとっての 男女共同参画意識の啓発	男性の固定的性別役割分担意識の解消や長時間労働を前提とした労働慣行の見直しをすすめるため、啓発活動や学習機会の提供を行います。	人権男女共同参画課 公民館
65	男性が家庭生活に関われる 職場環境の整備	男性も育児休業・介護休業がとれる職場環境の整備について、企業等への働きかけと制度の普及を図ります。	人権男女共同参画課 雇用促進室
66	男性の子育てや 家庭生活への参画促進	プレママ講座、パパカレッジなど子育てを応援する講座を開催し、男性の積極的な子育てや家庭生活への参画を促進します。	健康推進課 子育て・子育ち支援課 公民館

【 各主体に期待される役割分担 】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学習していることに関心をもち、子どもと男女平等について話し合う機会をもちましょう ・研修会や講座に積極的に参加し、男女共同参画について学びましょう
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しをしましょう ・市の出前講座を活用しましょう ・性に起因する人権侵害や犯罪を許さない意識啓発など、自治会等での広報に協力しましょう
事業所の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を向上させ、環境の改善に努めましょう ・男女共同参画に関する学習機会の充実に取り組みましょう
教育機関の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園・学校生活の場において、男女平等教育を進めます
市の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが性別にとらわれず個性や能力が發揮できる男女共同参画社会を実現する基礎となる教育や学習を進めます

【 評価指標・モニタリング指標 】

評価指標	基準値 (H27)	目標値 (H33)
「男は仕事、女は家庭」というような固定的な性別役割分担を好ましくないと考える人の割合 【市民意識調査】	65.8%	80%
社会全体が男女平等であると思っている人の割合 【市民意識調査】	15.8%	30%
育児休業について、男女ともに取ることができるのを当然だと思っている人の割合 【市民意識調査】	42.2%	60%
介護の役割分担について、女性だけが負担するのではなく、家族で分担する方がよいと思っている人の割合 【市民意識調査】	65.7%	70%
男女共同参画に関する「出前講座」実施数	2回(過去3年平均)	5回以上
市民フェスティバル「講演会」のアンケートで満足という回答割合	55%	70%
男女共同参画推進講座のアンケートで満足という回答割合	64%	70%
市役所の男性職員の配偶者出産休暇の取得割合	76%	100%